

～ 中部地方防災エキスパートの活動記録 ～

防災エキスパート連絡調整会議 開催

平成27年9月17日（木）に（一社）中部地域づくり協会8階会議室において、地区代表・代表世話役による防災エキスパート連絡調整会議を実施しました。

活動運営支援事務局として、活動要請に対する連絡体制の確保に向けて、これまでの「運営支援事務局支部、地区代表、代表世話役、世話役」という体制のあり方について意見交換を実施し、今後は「運営支援事務局支部、地区代表、世話役」体制とすることで、各地区において新たなメンバー構成を構築することとしました。

また、連絡先情報（名簿）の共有の可否について全防災エキスパートへアンケートを実施して名簿の充実を図ること及び、防災エキスパートへの貸出し備品の対応について協議し、アンケートの早期実施と最低限安全ベストを全会員に事前に貸し出すことと取りました。

安全ベストについては、今後整備する中で対応して行きたいと考えています。

～ 各地区・事務所で意見交換会開催！～

前号で静岡国道事務所、浜松河川国道事務所の意見交換会開催状況を報告しましたが、その後の開催状況等を報告します。

○9月以降 静岡河川事務所はじめ

21事務所・管理所で意見交換会実施

9月以降に静岡河川事務所はじめ、21の事務所・管理所で中部地方防災エキスパートとの意見交換会が実施されました。

単独で実施された事務所が5箇所、合同実施された地区が5箇所と地域により開催方法に工夫を凝らしたものとなっています。（三重地区においては5事務所・管理所合同、長野地区においては4事務所合同、三河地区では3事務所・管理所合同）

意見交換会においては事務所長はじめ事務所幹部、中部地方整備局防災課、中部技術事務所が出席し、防災エキスパートの皆様へ様々な情報提供・報告をさせて頂きました。

【 主な情報提供・報告事項 】

- ・中部地整における最近（H26年度）の災害派遣報告
- ・重要水防箇所
- ・台風18号にの出水速報、同関東地方の出水状況及び TEC-FORCE 派遣活動
- ・平成26年度防災エキスパート活動
- ・防災エキスパートへの要請業務
- ・国土交通省のハザードマップポータルサイト運用
- ・関東・東北災害を受けた「避難を促す緊急行動」について

* 報告内容については、各意見交換会毎に若干の差異があります。

平成27年度 意見交換会実施状況

開催名称	開催場所	実施日	実施時間	関係事務所等	参加人数
静岡国道	静岡国道会議室	H27. 7. 28	14:30~15:30		6
浜松河川国道	浜松河川会議室	H27. 8. 5	13:30~17:15		16
三河地区	豊橋河川会議室	H27. 9. 8	15:00~17:00	豊橋、設楽、矢作	台風18号で 中止再調整
静岡河川事務所	静岡河川事務所	H27. 9. 18	15:00~16:15		11
岐阜国道事務所	岐阜国道事務所	H27. 9. 25	15:00~16:30		22
三重ブロック	三重河川国道	H27. 9. 28	14:30~16:30	三重、木下、紀勢、北勢、蓮	42
木曾上・越美合同	協会岐阜支所	H27. 9. 29	13:30~17:15	木曾上、越美	25
沼津河川国道	沼津河川国道	H27. 10. 9	10:00~11:30		7
多治見・丸山	多治見砂防国道	H27. 10. 22	14:00~16:00	多治見、丸山ダム	16
庄内川河川	みずとびあ庄内	H27. 12. 9	14:00~15:30		21
三河地区	豊橋河川会議室	H27. 12. 21	15:00~17:00	豊橋、設楽、矢作	19
伊那谷4事務所	アイパル2F会議室	H28. 1. 26	15:00~17:00	天上、飯田、天ダム、三峰総	22
長島ダム	島田分室	H28. 1. 27	15:00~17:00		5

意見交換会において出された主な意見及び回答の内容を次表にまとめました。

平成27年度 防災エキスパート意見交換会で出された主な意見		
項目	意見・質問	意見交換会での回答
役割	防災エキスパートの活躍の場がない。活動実績に乏しい。	災害が発生した場合に活躍頂ける様に、事務所から意見交換会や訓練への参加をお願いしている。 実際に身の回りで災害が生じた場合は、自己判断により、事務所に身の回りの情報を提供していただきたい。
	防災エキスパートの役割が明確でない。 防災エキスパートはこういったタイミングで要請が来るか明確でない。	防災エキスパートはボランティアであることが前提である。 自発的に行動する場合は自らの判断で身の回りの状況（自宅周辺など）を登録事務所へ報告して頂く。 また、防災課から活動要請があった場合は、状況に応じて活動が可能であるか、不可能であるか判断していただく。 活動不可能である場合には、断って頂いて問題無い。
	防災訓練・点検への参加を考えていただきたい	防災訓練・点検への参加は、各事務所に積極的にエキスパートへ参加要請して頂くよう平成27年6月4日に通知済である。
	応急復旧工法等の助言等を防災エキスパートに依頼すべきでない。	要綱第6条に協力活動の内容として自治体に対して技術的助言を行う事としている。応急復旧工法等の助言につい

		ては、自分の可能な範疇で行って頂く。
	どの程度の悪天候までを活動対象としているのか？	天候については、自己判断で無理をせずに活動出来るのか出来ないのか判断して頂く。
活動報告 指揮・命令系統	防災エキスパートの指揮・命令系統はどのように想定しているか？	防災エキスパートの活動フロー図はエキスパート手帳 P3-5 に記載の通り。指揮・命令系統は、現在整理中である。
	活動報告の様式はあるのか？どのように報告するのか？	様式は、防災エキスパート手帳 P67-72 の通りであるが、必ずしも様式を用いた報告をしなければならない訳ではない。報告の要点はエキスパート手帳 P8-25 に記載してある。 * 報告様式は、中部地勢HPよりダウンロードが可能です。 URL： http://www.cbr.mlit.go.jp/kikaku/bousai_expert/index.htm
移動手段・旅費	防災エキスパートの緊急時における移動の取り扱いを明確にして欲しい。エキスパートは緊急車両扱いとなるのか？	エキスパートの車両を緊急車両とするためには、地整にて判断、事務手続きが必要であるため、基本的にはTEC隊員と同行して頂く。
	担当事務所内への派遣は、旅費が出ない規定となっている。改善して欲しい。	旅費については支払いが可能であるが、旅費が必要となる場所への派遣については、事務局からの支援要請に基づく活動のみを想定している。
連絡系統	現在の連絡系統は、災害事務所、応援事務所の関係がわかりにくい。もっと簡潔にならないか。事務所における連絡先の一本化と情報発信のあり方への工夫を願いたい。	事務局、支援事務局にて検討中である。
高齢化 防災エキスパートの	勧誘のみでなく、退官することも検討すべきではないか？ 年齢的な問題で現地に派遣できない場合もあるが、事務局はどのように考えているか？	自分の活動可能範囲内にて、活動していただく。 エキスパートの活動が不可能であると判断された場合は協会に申し出て頂きたい。 また、現地に派遣出来ない場合においても、可能な範囲内で自宅付近の状況報告などに徹して頂く事をご理解頂きたい。
差別化 他制度との	河川等災害アドバイザー、防災マイスターと防災エキスパートの位置付けが不明。明確にすべきである。	防災エキスパートはボランティアである。 あくまでも、情報提供や道案内などのサポート役を主な役割としている。
下 装 備 品 エキスパー	防災エキスパートの装備品を充実した方がよい。	防災エキスパートの装備品は、事務局にてヘルメット、雨具、長靴、リュック、バストを準備する。貸与方法について、検討中である。

静岡河川事務所 意見交換会



岐阜国道事務所 意見交換会



三重県内合同意見交換会（三重河川国道・木曾川下流、紀勢国道・北勢国道・蓮ダム）



木曾川上流河川・越美砂防 合同意見交換会



沼津河川国道 意見交換会



多治見砂防国道・丸山ダム 合同意見会



庄内川河川事務所 意見交換会



三河地区 合同意見交換会（豊橋河川・設楽ダム・矢作ダム）



伊那谷4事務所 合同意見交換会

(天竜川上流・飯田国道・三峰川総合・天竜川ダム統管)



*長島ダム管理所における意見交換会の実施状況写真はありません。

～ 防災訓練等に参加しました。～

○情報伝達等 防災訓練に防災エキスパート参加

沼津河川国道事務所及び浜松河川国道事務所の防災訓練において自宅及び勤務先周辺の道路、堤防、橋梁等の被災状況など情報伝達訓練が災害協力会会員と共に実施され沼津河川担当の防災エキスパートが7名と浜松河川国道担当防災エキスパート5名が参加し、想定した被災状況などの情報を報告しました。

◆沼津河川国道事務所 防災訓練 参加者（10月16日（金）実施）
茶山満氏、北村豊氏、工藤隆氏、佐藤憲司氏、中村允信氏、長尾和男氏、
稲木喜良氏

◆浜松河川国道事務所 防災訓練 参加者（10月29日（木）実施）
新村孝行氏、水野益宏氏、松浦勝己氏、田光宏三氏、青山春男氏

○菊川・天竜川 【避難を促す緊急行動】共同点検、確認へ参加

国土交通省では関東・東北豪雨（H27.9月）を受けて全国の河川で市町村長や堤防沿いの住民の方々の不安や懸念に応えるための【避難を促す緊急行動】を実施しました。

その一環として、浜松河川国道事務所では、菊川・天竜川の流下能力の低い区間や過去の漏水箇所など、洪水に対してリスクが高い区間において、事務所職員、市町村職員、消防団等と共に防災エキスパート6名が参加し共同点検・確認活動を実施しました。

【実施・参加状況】 11月25日（水）13:30～16:00
菊川：菊川市 管内 片岡賢一氏
11月27日（金）13:30～16:00
菊川：掛川市 管内 松浦勝己氏

11月27日（金）9:30～12:00
天竜川左岸：磐田市 管内
青山春男氏、渥美利治氏、
大嶋秋夫氏、水野益宏氏



菊川の重要水防箇所 点検・確認状況



○多治見砂防国道事務所における合同防災訓練に参加

平成28年2月3日（水）（13時～16時）多治見市産業文化センターにおいて、大規模土砂災害（河道閉塞）を想定した合同防災訓練が行われました。この訓練は、大規模土砂災害発生時の関係機関（国、県、市町村）の連携強化を目的に、平成18年度より多治見砂防国道事務所管内の各市町村で実施されている訓練であり、今年度は、多治見市内で河道閉塞が発生し周辺地域でも災害が発生しているとの想定で、多治見市、岐阜県、多治見砂防国道事務所、協定業者が一同に会し、土砂災害に対する応急対策、警戒、避難等の防災対応能力の向上と、関係機関の情報収集・伝達・共有などの訓練が実施され、防災エキスパート2名（大石誠氏、柴田晃男氏）が参加しました。（総勢約70名）



防災訓練実施状況



平成27年度 防災訓練等参加状況

訓練名称	実施場所	実施日	参加人数
平成27年度 揖斐川連合総合水防演習・ 広域連携防災訓練	岐阜県大垣市 今福町地先	H27. 5. 24	5
平成27年度 庄内川重要水防箇所合同巡視	庄内川河川 事務所管内	H27. 6. 2～H27. 6. 15 (内5日間)	7
平成27年度 三重河川重要水防箇所合同巡視	三重河川管内 三重四川	H27. 6. 9～H27. 6. 16 (内4日間)	14
平成27年度 南海トラフ巨大地震対策中部 ブロック協議会広域連携防災訓練	中部地整管内 (河川環境楽園)	H27. 8. 30 (警報発令で中止)	3 現場で解散
平成27年度 岐阜国道事務所情報伝達訓練	エキスパート自宅等週 辺：情報収集伝達	H27. 9. 1	5
平成27年度 沼津河川国道事務所総合防災訓練	エキスパート自宅等週 辺：情報収集伝達	H27. 10. 16	7
平成27年度 浜松河川国道事務所防災訓練	エキスパート自宅等週 辺：情報収集伝達	H27. 10. 29	5
平成27年 浜松河川国道 菊川・天竜川 共同点検 菊川市、掛川市、磐田市	菊川・天竜川における洪水 に対してリスクの高い箇所 の共同点検	H27. 11. 25・27	6
大規模土砂災害（河道閉塞）を想定した合同防災訓練 多治見砂防国道事務所、岐阜県、多治見市	多治見市で河道閉塞等の災 害発生を想定で情報収集、 共有、伝達訓練	H28. 2. 3	2

★★ 事務局（企画部防災課）からのお知らせ ★★

～ 「災害フォトシステム」の廃止について ～

「災害フォトシステム」につきましては、平成22年より運用し、被災状況写真の提供をして頂いておりました。

この度、この「災害フォトシステム」を平成27年度3月末で廃止されることが決定しましたのでお知らせいたします。

長らくの間ご協力いただき、誠にありがとうございました。

～ 防災エキスパート連絡先情報の共有について ～

防災エキスパート活動を効率的に実施するため、連絡体制の見直しを図ると共に、整備局防災課、中部技術事務所津波対策技術課及び運営支援事務局、運営支援事務局支部、地区代表、世話役において、防災エキスパートの皆様の連絡先等の情報を共有するための可否についてアンケートを実施させていただき、99.4%の皆様から回答をいただきました。

皆様のご協力にお礼申し上げます。今後、有効活用を図っていきます。

～ 防災エキスパート会員登録状況 ～

平成28年2月 末日現在 335名

発刊：中部地方防災エキスパート運営支援事務局（一社）中部地域づくり協会 企画部
名古屋市中区丸の内三丁目5番10号 名古屋丸の内平和ビル8階

TEL052-962-2227 FAX052-962-9083